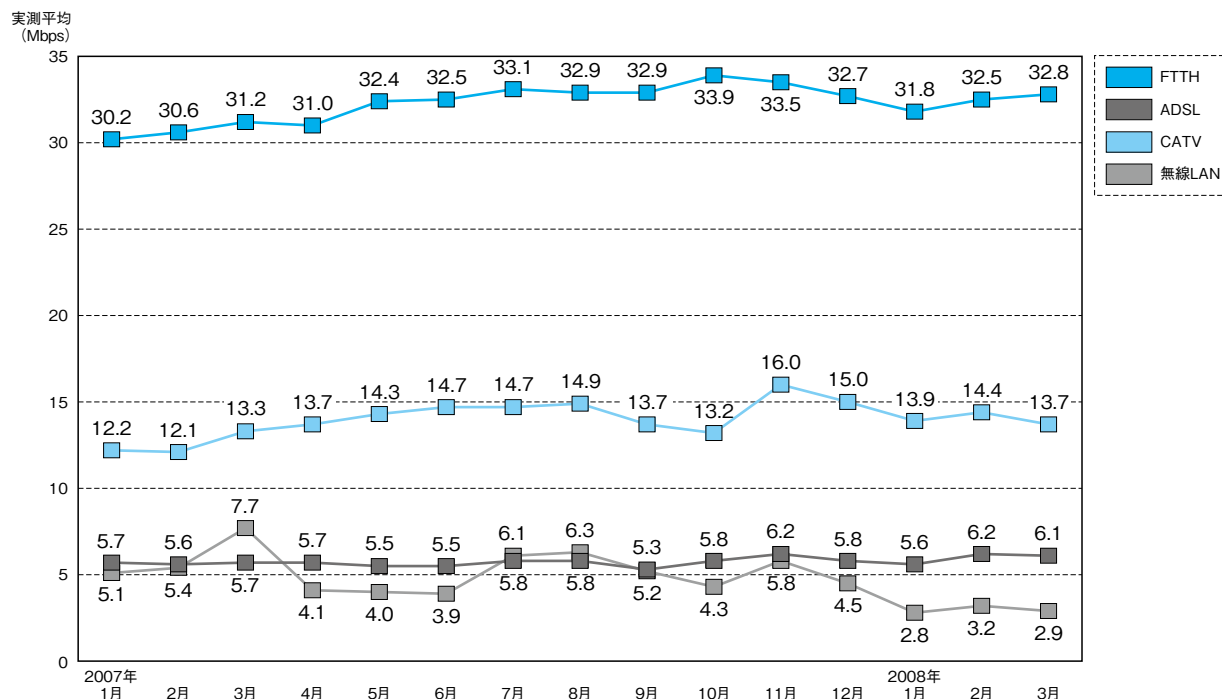


実測スピード

■ FTTH、CATVは上昇基調、無線LANはアクセスポイントの速度差で乱高下

資料3-1-8 回線別実測平均速度



FTTHとCATVの平均ダウンロード速度は、ゆるやかな上下動がある中で全体として増速基調にある。また、ADSLはほとんど変化がなく、普及が一段落した回線種別であることがわかる。上下動の少ない固定網に対して、アクセスポイントの増加が続く無線LANでは、大幅な上下動になっている。これは、アクセスポイントの接続先の速度やアクセスポイントの接続環境に大きな差があり、利用者の増加がトータルでの平均速度の上下動となって表れたと考えられる。また、実測定の場合、有線に比べて定点観測になりづらい無線LANの特性も影響している。

実測平均速度について

資料3-1-8から3-1-12で集計した回線速度のデータは、RBB TODAYのスピード計測サイト^(※1)のログデータがもとになっている。調査期間中にこのサイトにアクセスして自分の環境の回線速度を計測したすべてのユーザーの結果データを、所定の条件でフィルタリングして異常なデータを取り除き、集計して平均速度を求めている。このサイトを使って得られるデータは、個々の環境やそのときの条件などに依存するが、独自プロトコルを使っ

てできる限り信頼性の高い値が出るように工夫している。また、当該サイトでの月間計測数は数十万を超え、統計データとしても十分な精度と信頼性を持っている。

計測に際しては、この独自プロトコルを搭載した計測専用サーバーを用い、測定サーバー側の条件を一定にしている。また、計測サーバーは、プロバイダー間のバックボーンネットワークの影響を受けにくくするために、IXに近い場所に設置している。加えて、

同時に接続を許可するユーザー数を制限することで、帯域を確保できない状態で計測することがないようにし、生じる誤差を最小限に押えている。

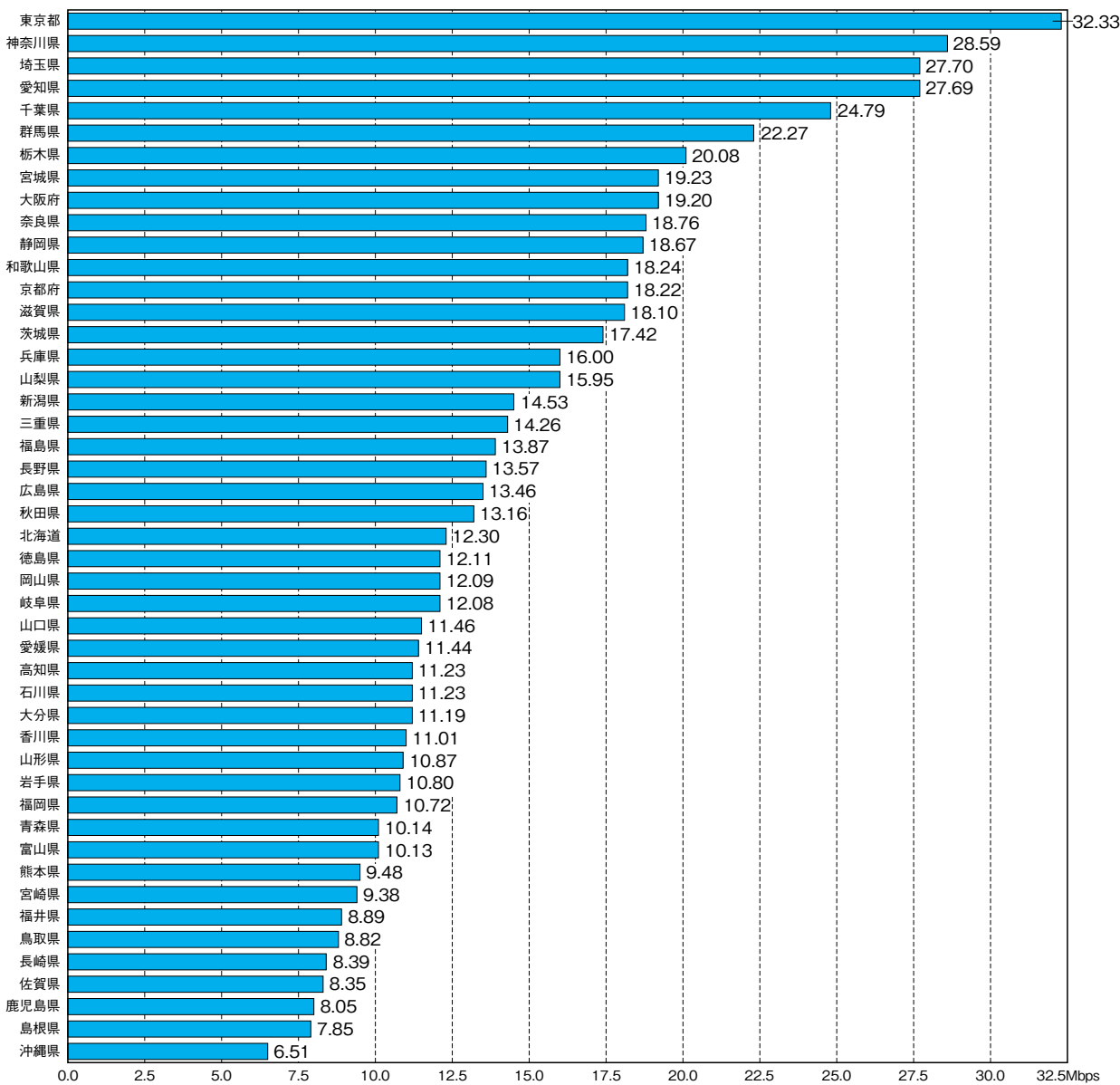
また、発信地（都道府県）と回線種別については、最新の分析手法を導入してIPアドレスを用いた解析を行っており、必要十分なデータの質と量を確保している。

(※1) RBB TODAYの計測サイト
<http://speed.rbbtoday.com/>

実測スピード

■ 全回線のダウンロード平均速度は7割の都道府県で増速、愛知は首都圏に迫る

資料 3-1-9 都道府県別実測平均速度(ブロードバンド回線全体)



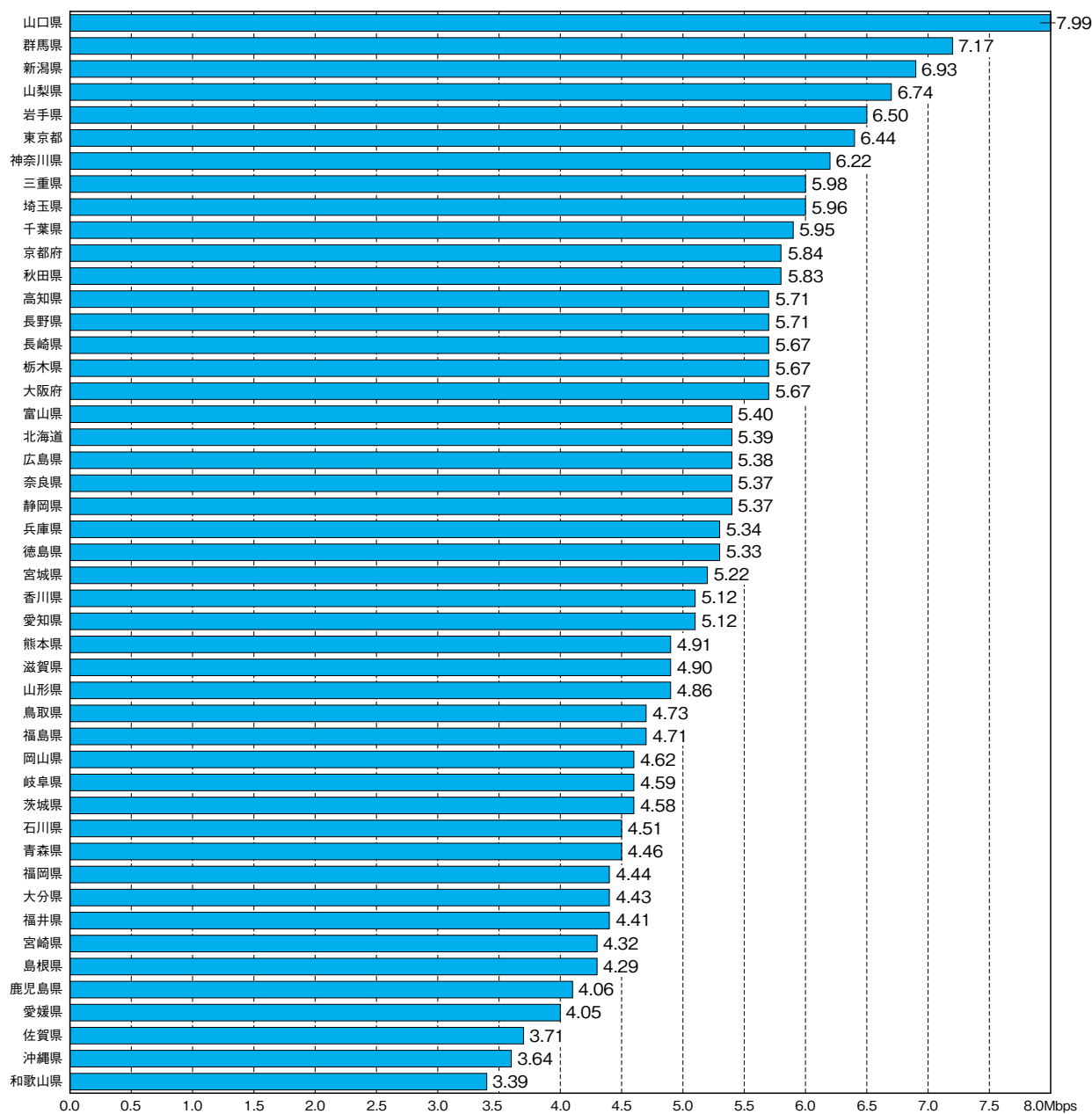
※ 2007年1月1日から2008年3月31日までの平均値 © 2008 speed.rbbtoday.com

測定データのIPアドレスなどを用いて分析した結果、発信場所(都道府県)を特定できた252万件のデータから算出した。2006年～2007年の統計と比べると、上位3都県の顔ぶれ(東京、神奈川、埼玉)は変わらないが、5位だった愛知県が千葉県を抜いて4位に入り、この3都県に肉薄する速度となっている。これは資料3-1-11(p.114)のとおり、FTTHの平均速度が東京に次ぐ高速であることなどによる。これに対して、下位3県の顔ぶれ(沖縄、島根、鹿児島)も変わらない。しかも、鹿児島県と沖縄県は前回よりも速度が下がっている。平均速度は利用される回線種別の割合により変化するので一概には言えないが、7割の都道府県が増速していることから考えると、改善が求められるのは当然であろう。

実測スピード

■ ADSLのダウンロード平均速度は山口、群馬が7Mbpsを超えるが、全体では減速傾向

資料 3-1-10 都道府県別実測平均速度(ADSL)



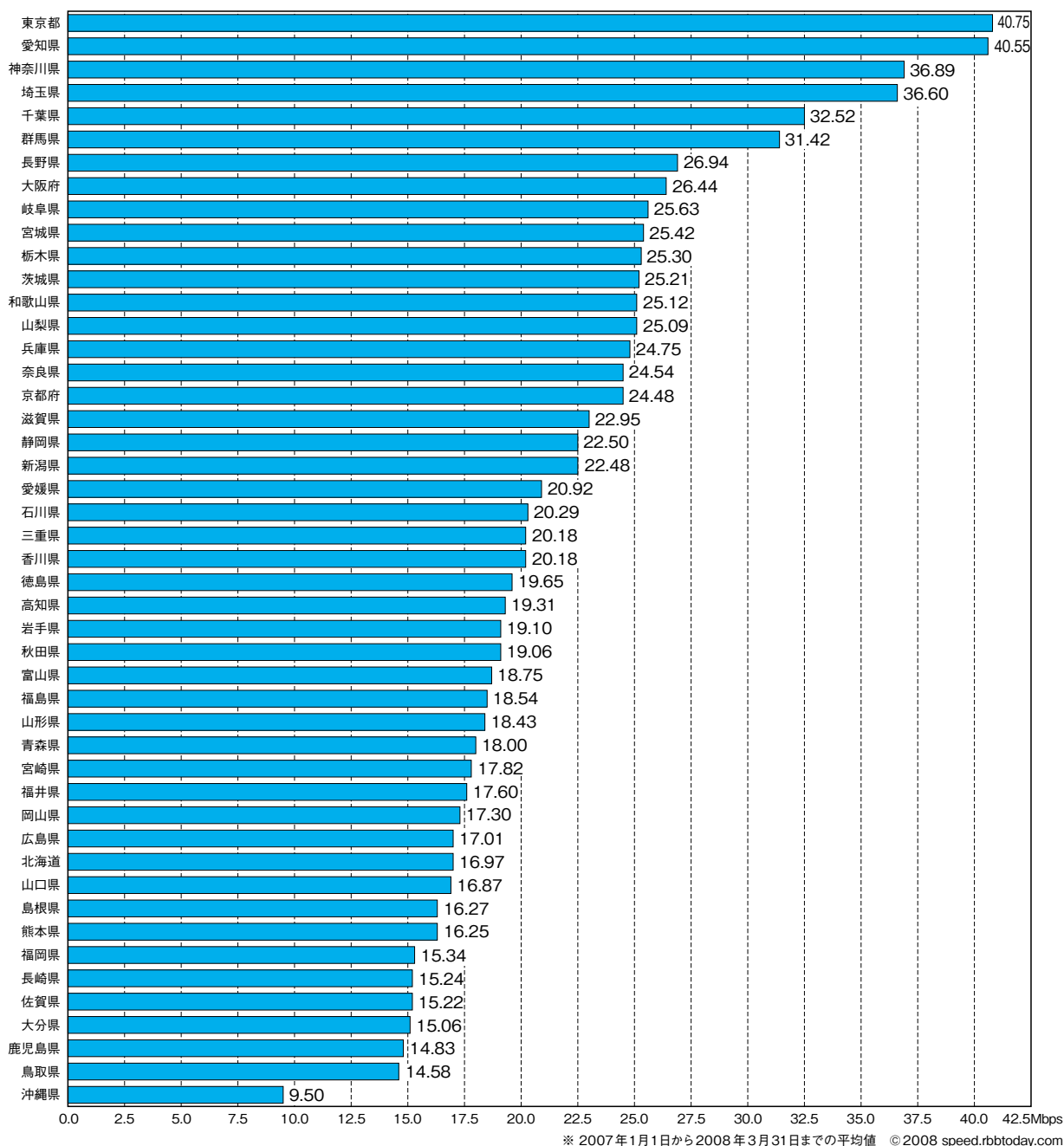
※ 2007年1月1日から2008年3月31日までの平均値 © 2008 speed.rbbtoday.com

測定データのIPアドレスなどを用いて分析した結果、回線種別がADSLであり、発信場所（都道府県）を特定できた51万件のデータから算出した。前回（2006年～2007年）の統計と同様に、山口県と群馬県がトップ2で7Mbpsを超えているが、7Mbps以上が前回の3都県から2県に、6Mbps以上が前回の11都県から7都県に減っている。県単位で見るとADSLの速度は改善よりも低下の方向に向かっていると見えよう。なお、和歌山県は前回は3.93Mbpsで45位だったが、今回は15%減の3.39Mbpsで最下位（47位）となり、前回最下位だった愛媛県の3.67Mbpsをも下回っている。

実測スピード

■FTTHのダウンロード平均速度は東京、愛知が40 Mbpsを超える

資料 3-1-11 都道府県別実測平均速度(FTTH)

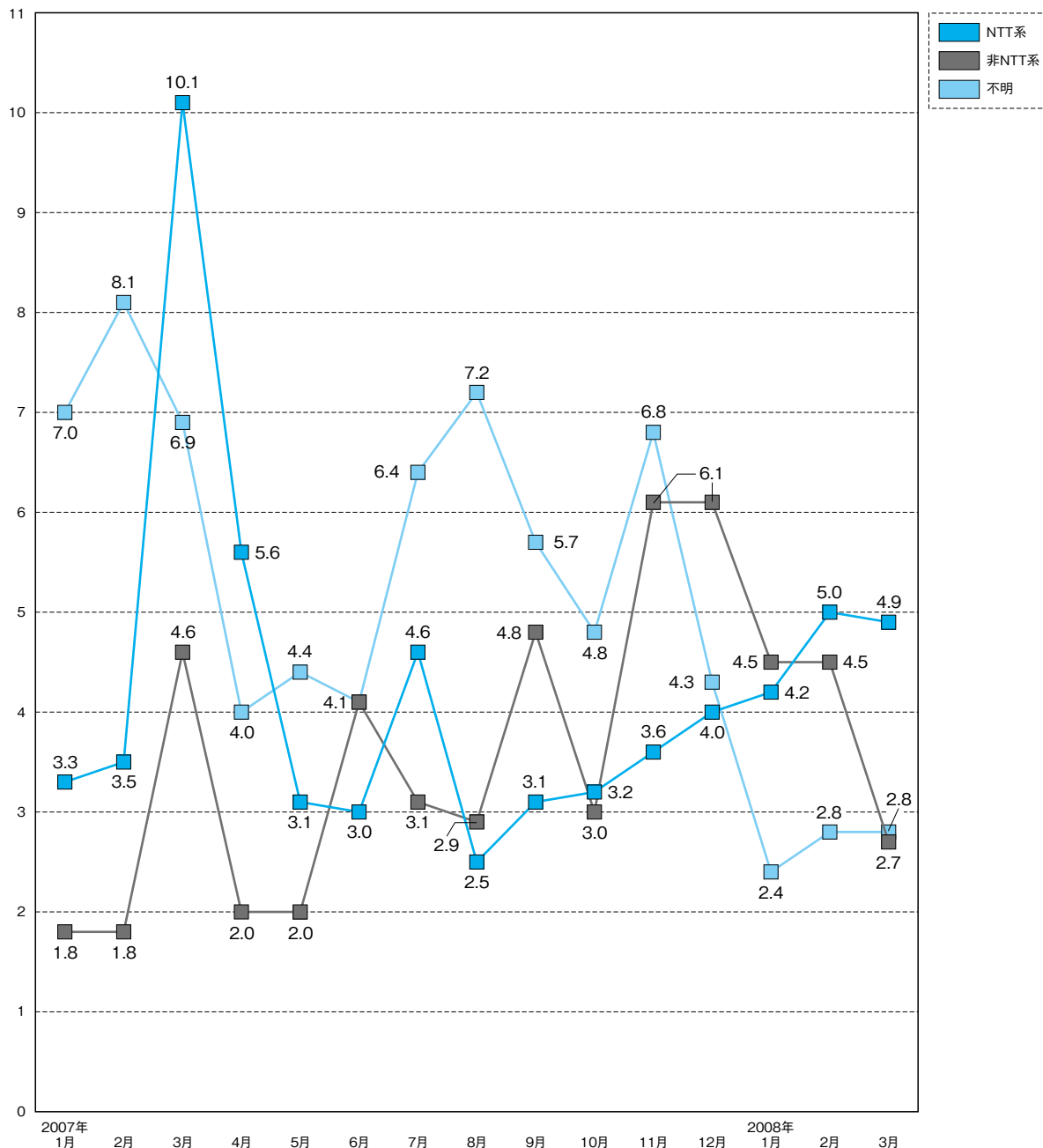


測定データのIPアドレスなどを用いて分析した結果、回線種別がFTTHであり、発信場所(都道府県)を特定できた125万件のデータから算出した。トップ2都県(東京都と愛知県)が40 Mbps超とずば抜けて速い。首都圏の各県がこれに続いているが、3～4位の神奈川県・埼玉県と、5～6位の千葉県・群馬県の間、この2県と、7位(長野県)以降との間に差が開いている。問題は最下位の沖縄県の段差で、ほかの都道府県との間に明らかなスピード格差ができてしまっており、改善が急がれる。

実測スピード

■NTT系の無線LANは乱高下の時期を抜けて安定上昇へ

資料3-1-12 無線LANの種別実測平均速度推移

実測平均
(Mbps)

回線別実測平均グラフのうち無線LANの平均ダウンロード速度を、NTT系、非NTT系、判別不可の3種類に分けたところ、2007年7月までは系統を問わない乱高下となっていた。しかし、NTT系の無線LANについては、2007年8月から安定した速度増加に転じており、2008年に入ってからほかの系統を上回る速度で落ち着いている。無線LAN全体の速度の安定した上昇につながることを期待したい。

©2008 speed.rbbtoday.com



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp